

魔法の medicine プロジェクト 活動報告書

報告者氏名: 椿 啓子 所属: 大衡村立大衡小学校 記録日: 2021年2月8日

キーワード: 意欲の回復 読み書き指導

【対象児の情報】

○学年

小学4年生

○障害名

読み書き障がい(ディスレクシア, ディスグラフィア)

注意欠損多動性障がい(AD/HD)

その他(反抗挑戦性障害)

○障害と困難の内容

- ・不注意や衝動性の高さが顕著で失敗体験を重ねてきており、投げやりな言動が学年を追うごとに増えてきている。
- ・集中の持続が難しかった上に学習参加ができない時期が長くなったため、深刻な学習空白も生じ、学習意欲も低下している。
- ・理解の力はあるものの、文字から音、音から文字の変換の負荷が大きいため、読んでの理解や書いて評価を受けることができないている。

【活動目的】

○当初のねらい

長期間学習が成立しなかったことや大人への不信感が見られることから、まずは担任と安心できる関係を築き、本児の興味関心や学習可能な内容を把握することを目指した。

①成功体験を増やして賞賛される経験を積み、自己肯定感を高める。

②確認の方法を持つことで、安心して学習に取り組めるようにする。

・実施期間

令和2年6月1日から令和3年2月

・実施者

椿 啓子

・実施者と対象児の関係

学級担任

【活動内容と対象児の変化】

○対象児の事前の状況

(行動面)

- ・集団行動、順番を守る、物の管理等が難しい。それらのことを友達に指摘されることがトラブルの発端になる。
- ・支援を受けることを嫌い、支援員への暴言・暴力があった。

(学習面)

○読みの状況

- ・1年生の時に読みの困難が見られたのでひらがな音読練習を行った。平仮名、片仮名共に読めるようになったが文章

は逐次読み。

- ・漢字の読みを想起することが難しいが、正しい読みの選択はある程度できる。
- ・テストは問題文を読んでもらえば解答することができていたが読んでもらうことを拒否することもあった。

○書きの状況

- ・文字を書くことを嫌がる。「お」と「を」、「わ」と「は」を間違える。
- ・黒板を写す活動がとても辛いと話している。
- ・算数では、ノートのある程度書いていた。(その他の教科はほとんど書いていない。)
- ・片仮名は、使い慣れておらず間違えることもある。
- ・漢字は正しい漢字を選択したり、見て書いたりすることができるが、想起して書けるものはほとんどない。字形は整っている。

○理解の状況

- ・虫や理科が好きで、詳しく説明できることがある。
- ・国語や道徳では、良い気付きを発表できることがあった。
- ・算数では、足し算は学年相応の計算ができる。かけ算九九は習得できていない。

○学習参加や意欲(昨年度までの様子)

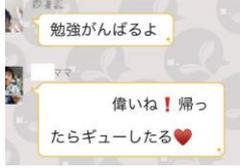
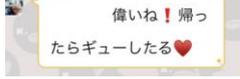
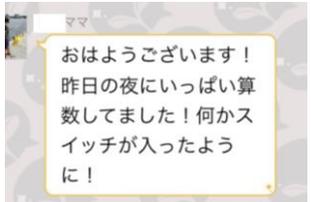
- ・薬の影響で授業中の居眠りが多かった。友達とのトラブル(暴言・暴力)が原因となる抜け出しが多く、ほとんど学習していない。今年度、居眠りは解消している。
- ・抜け出し後は保健室でクールダウンし、折り紙をする、絵を描く、本を読んでもらうなどして過ごすことが多かった。担任が用意してくれた課題に取り組むことは嫌がった。
- ・体育や図工、理科は参加していたが、参加を渋り保健室に行くこともあった。
- ・1年生後半から通級指導教室に通っていたが、通級を拒むようになった。
- ・学年相応の学習に対する意欲は低下しているが、できることをやりたいという思いがあり、教室を抜け出したときに支援学級において自分でできそうと判断した内容のプリントに取り組んだ。(下学年の主にしたし算のプリントをやりがった。)

○活動の具体的内容と対象児の事後の変化

① 成功体験を増やして賞賛される経験を積み、自己肯定感を高めるために

(___ 線は本児に合った方法と考えられるもの)

実施時期	活動内容	対象児の変化
6月～ 社会の時間	・「見えるぞニッポン」を視聴し、いろいろな県について調べた。 NHKforschool 	取り組めることが限られていた当初、 <u>見る</u> だけでいいから、と言うと見ていた。動画を見て分かった内容を校長先生に伝え、ほめてもらった。動画の内容に限らず何か分かかったり作ったりしたものがあると校長先生に教えたいと言うようになった。折り紙で苦勞して完成させた多面体を、完成直後に「校長先生にプレゼントする。」と持っていたことがある。
7月～適宜	・興味のあることを調べた。 (昆虫について、アイロンビーズや折り紙の作り方、トランプの手品等) safari Youtube  	・始めは昆虫について調べるが多かった。飼育方法などを調べては、実践したり分かったことを先生方に教えたりしてほめてもらった。最初は調べたいことがあっても自分で検索せず「先生調べて。」と担任に頼っていたが、その後音声入力で気軽に調べるようになった。トランプの手品のやり方もいろいろ調べては練習している色々な人

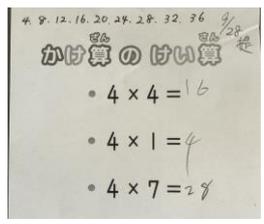
		達に披露し、友達や先生方からほめてもらった。
6/30～ 始業前毎日 10月以降は 必要に応じて	<p>・母親からのメッセージに返信したり、自分の気持ちを伝えたりした。担任からも本児の頑張りを写真等で母親に報告し、母親からも本児の様子を伝えてもらった。</p> <p>Bytalkforschool</p> 	<p>・母親に甘えた言葉を送ったり、母親からほめてもらう言葉を送ってもらったりして気持ちの安定につながった。始めは絵文字ばかり送ったり、「先生打って」と言ったりしていたが、その後音声入力や文字入力することが増えてきた。頑張った成果や作品等の写真を「ママに送りたい」と自分から言うようになった。</p>   

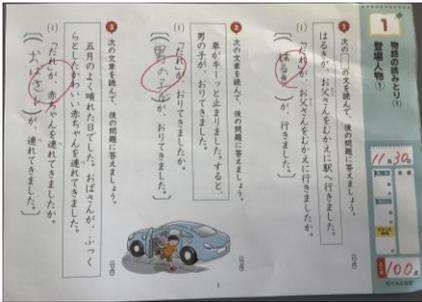
②確認の方法を持つことで、安心して学習に取り組めるようにするために

<学習したことの定着や確認>

実施時期	活動内容	対象児の変化
6月～ 始業前や 社会の時間	<p>・県名や形、場所などを覚えた。</p> <p>書き取り日本一周 地図エイリアン</p>  	<p>・取り組めることが限られていた当初、好んで取り組んでいたのが「書き取り日本一周」だった。パズルは早く完成できるようになり自信を持つようになった。県名を覚えるまでにはならなかったが、その後「地図エイリアン」で楽しみながら覚えていた。</p>
6月～ 理科の時間 社会の時間	<p>・動画視聴の後、ビノバで問題に取り組んだ。</p> <p>NHKforschool ビノバ社会 ビノバ理科</p>   	<p>・当初は教師の話には聞く耳を持たない様子だったが動画の視聴はできた。動画で内容はほぼ理解でき、ビノバの問題に答えることができた。回を重ねると動画を見た後、教師の説明を聞くようになり、教科書を使った学習に抵抗を示さなくなった。</p> <p>・ビノバに取り組むときは、当初は教師による読み上げを希望したが、読み上げ機能を使用して自分一人で取り組めるようになった。</p>

<かけ算九九の習得>

実施時期	活動内容	対象児の変化
7月～11月 宿題	<p>・ヒントありのかけ算九九の宿題プリントに取り組んだ。</p> 	<p>・宿題プリントは足し算の問題ばかりやっていたが、答えの選択肢があるかけ算九九の問題に取り組めるようになった。提出は週に1～2回だったが、9月には忘れてきた日に学校でやるように言うと素直に取り組むようになった。11月以降は通常学級の子たちと同じ宿題をしている。</p>

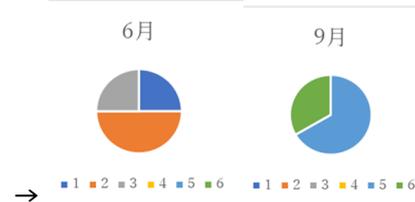
<p>12月～</p>	<p>・社会の教科書を読む 一太郎 Pad</p>  <p>文章読解ドリル</p> 	<p>が、問題にあらかじめ<u>音声</u>を付けておくと、一人で問題を聞いて考えるようになった。答えは代筆を要求することが多く、数字や記号で答えるものは自分で書いていた。1月には自分で書くことが増えてきた。</p> <p>・社会の教科書は一太郎 Pad を使い、<u>読み上げ機能</u>を使って内容にアクセスした。その後、音声が無くても教科書に何が書いてあるのか見るようになった。</p>
-------------	--	--

<行動面の変化>

6月は指示に素直に従うことがほとんどなく、些細な事でも腹を立て、教室を出ていくことがあった。学習用具の片づけや給食当番やそうじをしないなど、生活態度は荒れていた。授業に関しても取り組みを拒否することが多く一日に一つか二つのことしか取り組めず、ほとんど学習できない状態だった。9月にはほぼ毎時間短時間ではあるものの学習に取り組めるようになり、生活態度も整ってきた。

一日に取り組んだ課題数

6月は1～3個だったが、
9月は5～6個になった。



【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

好きなことやできることで成功体験を積んで自信を持ち、自分に合った学習方法に気付いたことで苦手な読み書きにも向き合えるようになったのではないかな。

・エビデンス

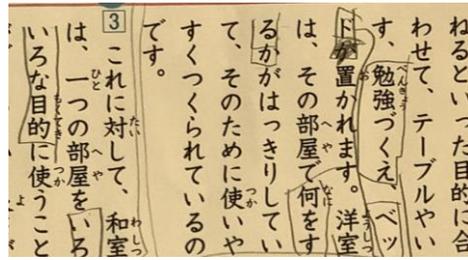
<単元テストの取り組みから>

最初に取り組めたのは得意な理科。その後社会、算数と取り組めて最後に苦手な国語にも取り組めた。

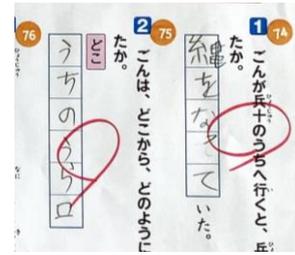
	7月	12月	1月
教科	理科	国語	国語
問題へのアプローチ	担任の読み上げ	音声ペンの使用	音声ペンの使用
記入方法	担任が代筆	答えの箇所に印をつける (一部自筆) →印を見て担任が代筆	全て自筆



7月 理科



12月 国語



1月 国語

・その他エピソード

エピソード 今日から日記を書きます

10月に自分から急に photoMemes  で日記を書き始めた。担任に内緒で文字入力していた。その後は音声入力で書くことが多かったが、拒否することなく取り組んだ。

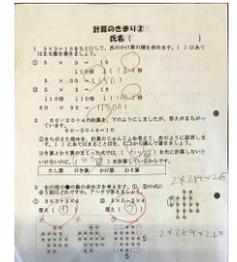
今日からっきをつくります。きょうはいもにをしました、たのしかった、もうすぐできゅうじょくです、べんぎょうがおわってしまからひょうたんからことばをみえます。



↑ 初日の日記

エピソード みんなと算数の勉強がしたい

11月に算数の授業を交流することになった。きっかけは、理科で交流していた時に算数のプリントを目にし、自分もやってみたくて言ったことだった。しばらく学習を拒否する状態が続いていたので皆より遅れており、未習部分ではあったがポイントを教えることができた。それに自信を付け、翌日から「算数の授業に行きたい」「宿題もみんなと同じものがやりたい」と言い、交流することにした。初日の感想は「簡単だった。書くのが大変だった。」翌日は「今日は数字だけ書く。」と言った。(初日に板書は全て書きなくていいことは伝えていた。)



きっかけとなったプリント

エピソード 自分の苦手を知る

宿題をやりながらつぶやいていたことがある。「九九はがんばり表で結構覚えた。算数忍者が良かった。だからできるようになったんだ。」答えは分かるけど読むのができないんだ。」その日の算数の授業(交流)では、支援員さんに「問題読んで。」とお願いしていた。自分から支援を求められるようになった。

エピソード テスト全部やりたい

1月にCRTのテストを受けた。問題がたくさんあることを事前に伝えると、「先生、問題読んでよ。」と言う。「コンプリートしてやる。」と意欲満々だった。音声ペンを使用し、答えは自分で書いた。読んでもらえば分かる、が定着してきたと感じた。

エピソード 新聞を作りたい

6月にPCのキーボード入力ができるようになりたいと言い、ひらがな入力の練習をしたことがあった。練習は長続きしなかったがPCには定期的に触れてきた。1月にPCで新聞を作りたいと言い、担任と一緒に文章を考えながら作成した。iPadでは音声入力を好んでいたが、PCでは音声入力ができない。あえてPCで作りたいと言ったのは、キーボード入力したいし、ある程度できるようになった、との自信の表れと感じた。その後ローマ字入力も教えてみると、表を見ながら入力するようになり、「ローマ字で入力したよ。」と教えてくれることもあった。できなかったことでもやればできることを実感し、今後もその他の学習への意欲につながってほしいと思う。